

24時間365日、3つの機器で「安心」をサポート。

高齢者等あんしん見守りシステムは、3つの機器で見守りセンターが高齢者を見守るサービス。病気やけがなど、自宅で起きる不測の事態に24時間体制で対応します。機器の設置や貸し出しは無料*です。

*通信料は別途かかります(1回につき税抜き8~10円程度)



1 据え置き型緊急通報装置

居間や台所などに置きます。体調不良などの緊急時に「非常ボタン」を押すだけで見守りセンターにつながり、助けを呼んだり通話したりできる機器です。固定電話の回線を使用します



2 安否確認センサー

居間や台所、トイレなどに設置。センサーの前を12時間以上通過しないと、見守りセンターに異常を通知します



3 ペンダント型緊急通報装置

ペンダントのように首から下げて身に付けられます。ボタンを押すとセンターに異常を通知します



緊急通報があるとすぐに見守りセンターが対応してくれるから安心です



4、5年くらい前に母が民生委員さんの勧めで設置しました。私は平日働いているので、一人暮らしの母に何かあっても分からないし、携帯電話もなかなか受けられないんです。見守りセンサーはいつでも対応してくれるし安心ですね。母が長期で家を留守にしていたとき、センターの人から電話がかかってきたんです。「ずっと家にいないようですが、どうしてますか?」って心配してくれて。母はまだ気持ちも若いし元気ですが、いっとうなるか分かりません。このシステムがあるから私も安心して働いて



藤巻 芳恵さん(浜川町)

お守りのようで
母・娘両方の支えに。

Interview インタビュー

市内で離れて暮らす小林さん(母)と藤巻さん(娘)の二人に、見守りシステムについて聞きました。

いられます。お守りのように、母・娘両方の支えになっていますよ。私も一人暮らしをしているので、自分も65歳になったらぜひ使いたいなと思っています。

何かあったときに娘に連絡してくれます。



小林 和子さん(下中居町)

50代からずっと一人暮らしで、いつ倒れるかと心配だったので、教えてもらってすぐに付けました。取り付けに来た業者さんが機器の使い方を丁寧に教えてくれて。設置する場所も相談に乗ってくれました。自分に何かあったときに、センターが代わりに娘に連絡してくれるのがいいですね。

全国的に高齢化が進み、本市でも一人暮らしや夫婦だけで暮らす高齢者世帯が多くなっています。元気なうちはまだ大丈夫と思っても、何かあったときにはどうしよう...という不安は誰にでもあるものです。もしものときに、誰かが駆け付けてくれる—そんな頼りになる心強い味方が「高齢者等あんしん見守りシステム」です。

「見守り」は24時間体制安否確認や救急車を手配 このシステムは、高齢者宅に「緊急通報装置」と「安否確認センサー」を設置し、市から委託を受けた「見守りセンター」が24時間365日体制で見守りを行うものです。通報を受けると、見守りセンターが事前に登録されている家族や近所の知人などへ安否確認の依頼、救急車の手配などを行う他、状況に応じてセンターの職員が高齢者宅に駆け付けます。機器の設置・貸し出しは無料です。対象は市内に在住で、65歳以上の一人暮らしか高齢者だけの世帯です。家族や親族が市内に住んでいても設置できます。申し込みは、介護保険課 ☎321・1250 か各地域の高齢者あんしんセンターへ。

「もしものとき」に頼りになります 高齢者等 あんしん見守り システム。

高齢者等あんしん見守りシステムQ&A

Q&A

interview
インタビュー

緊急時にあんしん見守りシステムを利用した人もいます。その一人、小野寺さんにシステムについて聞きました。

このシステムはまさに「命の綱」。24時間つながっている安心感があります。



小野寺 春恵さん(三ツ寺町)

今年の1月に、仕事に具合が悪くなりました。なんとか家まで帰ったのですが、夜中にベッドで吐き気を感じて、めまいや耳鳴りもひどくて起き上がれなくなりまして。ベッドの脇にペンダント

型の方を下けているので、何とかそれを押して…。見守りセンターからすぐに連絡があったのですが、もうろうとしていて、気分が悪いということだけ伝えました。見守りセンターですぐに救急車を手配してくれて病院に運ばれましたが、その時のことはあまりよく覚えていません。見守りシステムは4年前に民生委員さんの勧めで付けました。説明を聞いて、すぐに付けようと思いました。息子が夫婦が近くに住んでいますが、仕事もあるし、すぐに連絡がつくとも限りません。いつ何が起るか分からないので、元気なうちに先を見越し

て付けました。今回のことがあったので、本当に良かったです。見守りシステムを付けたことで、センターの人と24時間つながっているという安心感があります。まさに「命の綱」という感じです。多くの人にこのシステムを利用してほしいですね。



居間の壁にセンサーを付けています。必ず1日1回以上は自然とセンサーの前を通ることになるので、と小野寺さん



外出時は「外出」のボタンを押せば、長時間家を空けていても大丈夫。家に戻ったときはセンサーの前を通るだけで解除に

Q1 何ができるの？
A1 緊急時にボタンひとつで助けが呼べます。在宅中に12時間以上、人の動きがない場合、見守りセンターに異常が通知されます。

Q2 見守りセンターって何ですか？
A2 市から委託を受けた機関です。24時間体制で高齢者を見守り、緊急時に安否確認や救急車の手配などを行います。

Q3 どんな人が使えるの？
A3 市内に在住で、65歳以上の高齢者だけの世帯です。家族が同居していても条件により対象となる場合があります。

Q4 お金はかかるの？
A4 機器の設置や貸し出しは全て無料です。ただし、通信料は別途かかります（1回につき税抜き8～10円程度）。

Q5 すぐ近くに親族がいるんだけど、利用できますか？
A5 市内外を問わず、近くに家族や親族が住んでいても利用できます。自身と家族の安心のため、ぜひご利用ください。

見守りセンターの職員に聞きました

interview
インタビュー

皆さんが安心して暮らせるようにきめ細やかにサポート。24時間365日、いつでも対応できる体制を整えています。



左から見守りセンター専務理事の山口比呂武さん、オペレーターの竹鼻千恵子さんと浦野文江さん

最近家族が県外に住んでいたり、共働きだったり、何かがあってもすぐ駆け付けることが難しいんですよね。このシステムでは、安否の確認が取れないときは見守りセンターの職員が直接確認に行きます。救急車の手配も、昨年1年間で約130件したんですよ。システムを設置する時に、かかりつけ医などを聞いておくので、救急隊員にいち早く情報提供できるんです。

元気に毎日過ごしていることが分かっている人にも、半年に一度は連絡を取って、お変わりないですかって聞くんです。システムを付けていることを忘れちゃってる人もいますよ。昼間も夜間もオペレーターを配置して、24時間見守っていますので、安心して暮らしてほしいです。



あんしん見守りシステムについて詳しくは、各地域の高齢者あんしんセンターか介護保険課（☎321-1250）へ。



市ホームページ